

# NID News

Latest News  
Nagaoka Institute of Design

January 2014 Vol. **015**

information  
長岡造形大学は  
2014年4月公立大学へ  
移行予定です



卒業生  
の仕事

## 菅原隆宏

卒業生  
の仕事菅原  
隆宏

## グラフィックデザイナー

株式会社グッドモーニングで  
多岐にわたるクライアントワークの他に、  
「仕掛けのある紙製オリジナルプロダクト」を  
手がける卒業生をご紹介します！

Takahiro Sugawara



## NIDへ入学した理由

高校生の時に「福田繁雄」のポスターに出会ったのがきっかけで、「グラフィックデザインをしたい」と強く思い、デザインを専門的に学べるNIDを選びました。

## NIDで印象に残っていること

友人たちと徹夜で課題制作に励んだことなど思い返せば色々ありますが、特に印象に残っているのは大学祭の実行委員としてワークショップを企画・実行したことです。来場者が描いた絵を学内に飾ったのですが、夢中になって参加する子供達の姿に感動したことを覚えています。

左から  
Calendar "Botanical Life"  
2013年 Creativity International Awards プラチナ賞  
Calendar Design部門グランプリ

Message card "Leaves"  
2013年 Creativity International Awards プラチナ賞  
Cards & Invitations部門グランプリ



左から  
「クリスマスカード」  
自社オリジナルメッセージカード

「goo カレンダー」  
2010年全国カレンダー展 日本印刷産業連合会会長賞

「NITソルコカレンダー」

## グッドモーニングに入社した理由

「ブルー・ムナーリ」や「D-BROS」などの影響で、当時から仕掛けのある紙媒体にとっても興味がありました。グッドモーニングは私が入社する以前から紙製のオリジナルプロダクトを開発していて、青山のショップでグッドモーニングの商品に出会ったことが入社志望のきっかけになりました。

## 現在の仕事

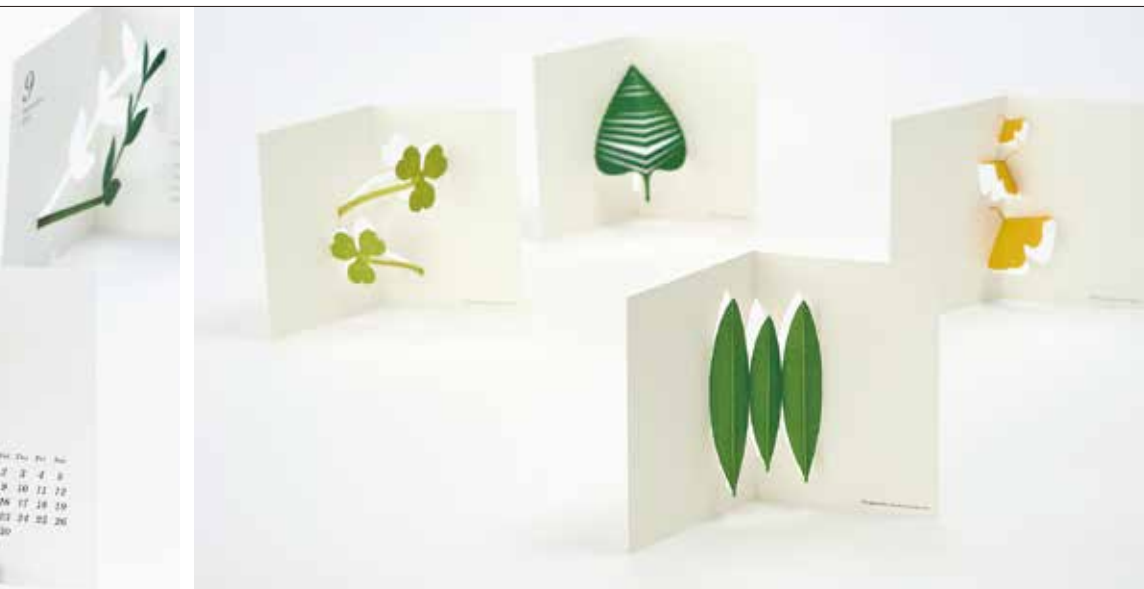
現在の仕事内容は大きく分けて2つあります。1つはクライアントワークで「CI、サイン計画、プロモーションツール、webサイトの制作」など多岐にわたります。もう1つは「自社オリジナルプロダクトの企画・制作」。今までに手がけた商品は紙製のカレンダーやメッセージカードで動物をモチーフにした「ZOO」、「Farm」、「Post Animal」、街をモチーフにした「Town」、植物をモチーフにした「Botanical life」、「Leaves」、花をモチーフにした「Flowers」などがあり、国内外のミュージアムショップやインテリアショップなどに置かれています。

オニバスコーヒー  
(東京都世田谷区)  
ロゴマーク

ONIBUS  
COFFEE



Calendar "Flowers"  
2013年 Creativity International Awards 金賞



## 菅原 隆宏

株式会社グッドモーニング  
グラフィックデザイナー  
<http://www.goodmorning.co.jp>

1983年山形県生まれ。2006年長岡造形大学卒業後、株式会社グッドモーニング入社。

「CI、サイン計画、プロモーションツールの制作」など幅広くグラフィックデザインに携わるほか、「紙の可能性の追求・紙と空間の心地よい関係」をテーマに自社プロダクトの企画・デザインを手掛ける。

カレンダーやメッセージカードなどのプロダクトはMoMA The Museum of Modern Art（ニューヨーク）、Design Museum（ロンドン）、Guggenheim Museum（ベルリン）など各国のミュージアムショップで取り扱われている。

受賞：

- 2013 Design for Asia Award Merit賞  
ドイツデザイン賞 Special Mention  
Creativity International Awards プラチナ賞  
Creativity International Awards 金賞  
A' Design Award プラチナ賞  
A' Design Award 金賞  
A' Design Award 銀賞  
iF communication design award 2013  
Graphis Annual Award 銀賞  
第59回ニューヨークTDC Communication Design Competition: Typographic Excellence
- 2012 Design for Asia Award Merit賞  
Creativity International Awards プラチナ賞  
Creativity International Awards 金賞  
A' Design Award プラチナ賞  
A' Design Award 金賞  
One Show Design Merit賞
- 2011 A' Design Award 金賞  
ドイツデザイン賞 Nominate  
全国カレンダー展 経済産業省商務情報政策局長賞
- 2010 Creativity International Awards 銀賞
- 2009 red dot award: communication design 2009  
HKDA Asia Design Awards 09 Excellent賞  
HKDA Asia Design Awards 09 Merit賞 他

### 特に印象に残った仕事やプロジェクトについて

今年新しく作った植物シリーズ、カレンダー“Botanical life”とメッセージカード“Leaves”です。発案の段階で完成系のイメージはほぼできていたのですが、そこから商品化までの過程、特に加工の技術面やコスト面で非常に苦労しました。

その中でも細部まで妥協せず、自分が表現したいことを追求することができたので特に印象的です。今年の“Creativity International Awards”各部門でそれぞれグランプリを頂いたのですが、そのこだわりが評価されたのだと思っています。



左から  
「NTT コムウェアカレンダー」  
2013年A' Design Award 銀賞

Message card “Post Animal”  
2013年Design for Asia Award Merit 賞  
2013年A' Design Award 金賞 他

### 海外のコンペの受賞で感じたこと

自分たちが作った物が言葉や文化が違う人々に評価されるのは非常に嬉しいですし、自信になります。それと私たちの場合、受賞を通じて商品を多くの人に知ってもらえるという点でも意義のあることだと感じています。

### これからのデザイナーとしての目標

これまで自分なりに経験を積んできて、今年はその積み重ねが何となく結実した年だと思っています。今後はそれをベースに新しいことにもチャレンジして、平面・立体に関わらず表現の幅を広げていければと考えています。



左から  
Calendar “Town”  
2013年第59回ニューヨークTDC  
Communication Design Competition:  
Typographic Excellence 他

Calendar “Farm”  
2013年ドイツデザイン賞 Special Mention  
2013年iF communication design award 2013  
2013年Graphis Annual Award 銀賞 他

**NID Life**  
 NIDでの生活について  
 学生に聞いてみました。



撮影/キャンパスの森

**ひとり暮らし調査**  
 光熱費 10,000円 食費 20,000円 (学食か外食が多い)  
 制作費 模型提出の月は5,000円くらい 交通手段 徒歩 通学時間 約5分

9:00	10:30	12:10	13:00	14:30	16:10	17:00	21:30	22:00	23:30	27:00	
ZZZ	準備	授業	ごはん	作業	授業	移動	バイト	移動	お風呂 ごはん	作業	ねる。
おきる								きた			

ある日のタイムライン  
 14:30 だらだら  
 15:00 しぼろ

**荒木 沙江子**  
 Saeko Araki  
 建築・環境デザイン学科 3年  
 建築デザインコース  
 出身：秋田県

**NIDで生活して**  
 学科をこえて友達ができることや、様々な分野の作品が見れること、それが私の大学生活の中でとても大切なことになっています。専攻は建築ですが、もともと美術も好きだったので、キャンパス内で色々な美術作品を見ることができるのはとても嬉しいです。たくさんのことを吸収して、着実にステップアップしていけるこのNIDで学べて、本当によかったと思っています。



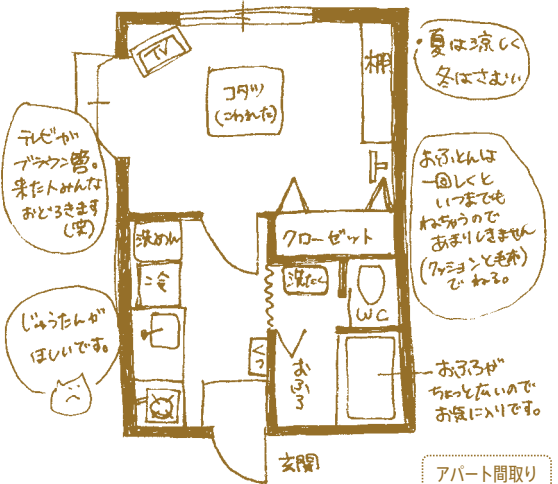
研究室の仲間と作品の前で

**楽しい仲間と**  
 大学ではNo Wall DiggerというダンスとDJのサークルに所属しています。4歳の頃からバレエを習っていたこともあり、踊ることが大好きで選びました。今は相方の裕子と二人で振付を考えて、イベントで踊ったりしています。忙しい大学生活の中で、ダンスをする時間はストレス発散にもなり楽しいです。サークルのメンバーも、全員個性豊かで面白い人たちなので、入って本当によかったです\(^o^)/



大学祭にて相方の裕子と

**家でのこと**  
 私は自他共に認める料理下手(笑)なので、自炊は本当にお金がない時以外していません。でも最近は白いごはんが好きなので、炊いたごはんをインスタントの味噌汁を食べています。高校までは、朝ごはんを食べないとお母さんが学校に行かせてくれなかったのですが、仕方なくごはんを食べていました。しかし、大学で一人暮らしを始めてからは、改めて家族の大切さを感じています。





撮影/第3アトリエ棟

## 中根 舞

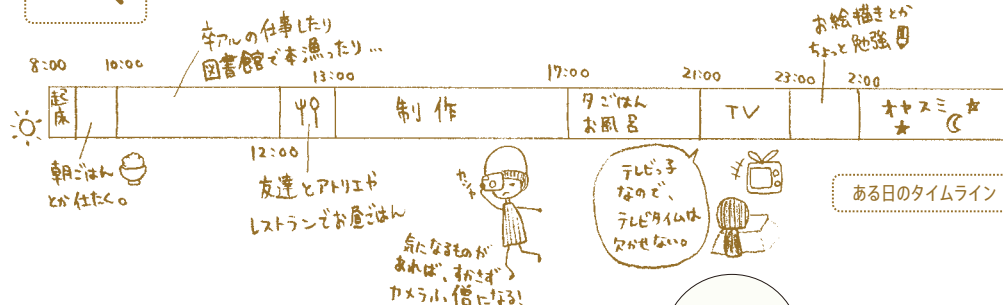
Mai Nakane

視覚デザイン学科4年  
 ヴィジュアルデザインコース  
 出身：富山県

### ひとり暮らし調査

光熱費 13,000円 食費 18,000円

画材・交通費などその他で 20,000円くらい 交通手段 徒歩 or 自転車 通学時間 約5分



### NIDで生活して

NIDの好きなところのひとつとして、図書館があります。

デザインやアートに関係する本がたくさんあり、私は絵本や作品集をよく見えています。ずっと本を読むのが苦手だと思っていたので、日々様々な種類の本や、雑誌を見ている自分にびっくりです(笑)

また、課題や委員会(卒業アルバム編集委員会に所属しています)で疲れた時などは、自然光が差し込むアトリエや、中庭のベンチで綺麗な庭を見るなどして、ぼーっと考えごとをすると落ち着きます。大学周辺には美術館やショッピングセンターをはじめ、様々なお店や施設がありますが、キャンパスの中で自然を感じて過ごすことが、私の一番のお気に入りです。

### 家でのこと

食べることや料理をすることが小さい頃から好きだったので、作業の合間やTVを見ている時などに、新しいレシピを考えたりしています。1ヶ月に使える食費は限られているので、その中で作れるレシピや、食材の組み合わせなどを考えるのは楽しいです。「これはイケるぞ!」と思った料理は、友人が集まった時に振る舞ったりしています。



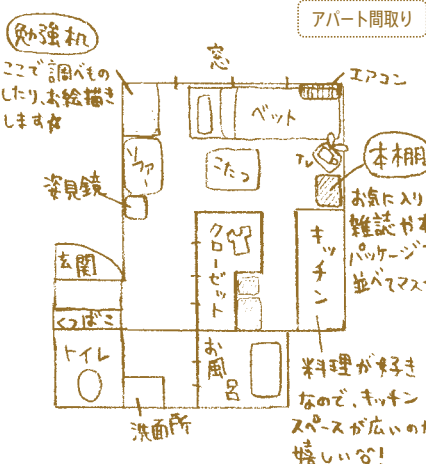
NIDのバラ園

### ちょっと遠出して...

大学のシャトルバスを利用できる時や、長期休暇の時には、関東方面に行って様々な展覧会を観たり、気になっている街でぶらぶらと店巡りをしたりします。普段生活を送るところは落ち着いた場所がいいのですが、たまに都会へ行行ってたくさんの刺激を受けるのも楽しみです。その際に、街中や電車内にある看板や広告を見るのもワクワクします。



東京の展覧会で



# TOPICS

## 2013 9月 長岡デザインフェア2013開催

長岡デザインフェア2013が今年もNIDを会場に開催され、来場した多くの市民の方で賑わいました。学内ではさまざまなワークショップなどのプログラムが催され、デザインの魅力を存分に見て・聞いて・体感できる2日間となりました。



## 2013 10月 大林宣彦 客員教授 来学

映画作家として著名な大林宣彦客員教授が来学し、学生たちの映像作品の公開講習会が行われました。学生たちは一人一人プレゼンテーションを行い、大林教授からの講評に熱心に耳を傾けていました。また同日には、上野裕治教授（建築・環境デザイン学科）と、地域と連携した修景イベントをテーマにしたトークセッションも開催されました。



## 2013 10月 絵画コース 学生優秀作品展

美術・工芸学科絵画コース3・4年生と大学院生を対象に、学内でコンペ形式で選出された優秀作品の展示会がギャラリーmu-an（新潟県長岡市）を会場に開催されました。

## 2013 10月 パッケージデザインコンペティション 朝日印刷株式会社賞受賞

富山デザインフェア2013 パッケージデザインコンペティション「お菓子を包む」（富山デザインフェア実行委員会主催）で、鈴木佳菜さん（視覚デザイン学科3年）の作品が朝日印刷株式会社賞を受賞しました。

## 2013 10月 大学祭開催

第20回長岡造形大学大学祭が2日間の日程で開催されました。

学生・教員たちによる模擬店や作品展示、ファッションショー、お笑い芸さんのライブなど多くのプログラムが催され、今年もキャンパスが大いに盛り上がりました。



## 2013 10月 ECOキャップアート制作に 学生が参加

JR長岡駅構内のCoCoLo長岡で行われた、NST新潟総合テレビが主催する「大好き！にいがた！ECOキャップ運動」の活動の一つ、「ECOキャップアート」制作に本学学生が参加し、訪れた人たちと交流を深めながら制作に取り組みました。



## 2013 11月 「特撮博物館」設営に 学生が参加

新潟県立近代美術館（新潟県長岡市）で開催された企画展「館長 庵野秀明 特撮博物館」の会場設営に本学学生が参加し、また一部のブースではディスプレイに学生のアイデアも取り入れていただきました。



## 2013 12月 教員作品展 「表現へのまなざし」開催

美術・工芸学科教員による作品展「表現へのまなざしpart 3」が、新潟日報メディアシップ（新潟県新潟市）を会場に開催されました。



たいくるま  
**鯛車教室**  
**アメリカで**  
**開催**

2013  
11月

特集

本学卒業生の野口基幸さんが代表を務める「鯛車復活プロジェクト」による鯛車教室が、アメリカ テキサス州ガルベトンで開催されました。

私が大学4年生の時に卒業制作で始めた「鯛車復活プロジェクト」は2011年にティファニー財団賞を受賞し、その功績が認められ、2013年より新潟市と姉妹都市であるアメリカのガルベトンとの国際交流事業に関わることになりました。新潟市とガルベトンは1965年に姉妹都市となり、2015年で締結50周年を迎えます。ガルベトンは2008年にハリケーンで大きな被害を受けた町で、私は鯛車のあかりで現地に復興のあかりを灯したいという想いでこのプロジェクトに関わることを決めました。

ガルベトン：  
テキサス州の南東部、ヒューストンから車で2時間ほどのところに所在する港町。人口は約6万人



ガルベトンでの一般市民を対象にした鯛車教室の様相

昨年6月には現地から美術の先生が来日して鯛車の作り方を憶え、そこで得た技術を持ち帰って授業で子どもたちに制作指導し、25台の鯛車がガルベトンに誕生しました。そして昨年11月に私と皆川俊理（建築・環境デザイン学科卒）の2人でガルベトンへ行き、一般市民を対象とした鯛車制作のワークショップを実施しました。そこで完成した鯛車と子どもたちが作った鯛車を、2013年11月16日に開催されたガルベトンの地域最大イベント「Festival of Lights」で1万人の来場者を前に披露しました。他にも現地のロータリークラブで鯛車のプレゼンテー

ションを行ったり、ガルベトン市長やヒューストンの日本領事館を表敬訪問したり、現地の学校を訪問したりするなど、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回の訪問を通じて感じたことは、良いモノは誰が見ても良く、同じ目標に向かってモノづくりに携われば、言葉や文化は違っていても想いは通じ合えるということです。今年もガルベトンでのワークショップを引き続き実施する予定です。そして2015年はたくさんの鯛車のあかりで、ガルベトンに復興への祈りを届けたいと思います。



「Festival of Lights」の様相



**野口 基幸** Noguchi Motoyuki

鯛車復活プロジェクト代表  
1981年新潟市巻地区生まれ。  
在学中はヴィジュアルデザインを専攻。  
2004年から同プロジェクト活動を開始し、新潟市巻地区、表参道（原宿）、信州善光寺（長野市）で毎年鯛車のワークショップを開催。  
2011年「ティファニー財団賞伝統文化振興賞」受賞。  
2012年セレクトショップ「BEAMS」で鯛車の販売開始。  
2013年アメリカテキサス州ガルベトンでワークショップを開始。

# 2014年4月からの公立大学法人化に向けて、順調に準備が進んでいます。

## 公立大学法人化について事務局長に聞きました！

NIDは2014年4月からの公立大学法人化に向けて、着々と準備を進めています。

今回は公立大学法人化を中心となって進めている、本学事務局の高橋事務局長に現在の進捗などについてインタビューしました。

### 1 公立大学法人化に向けて、 現在どのように進んでいますか？

12月18日(水)に当初の予定通り、長岡市が新潟県に公立大学法人設立申請を、本法人が文部科学省に学校法人解散認可及び設置者変更申請をそれぞれ行いました。

この後は、2014年3月に新潟県より公立大学法人設立認可、文部科学省より学校法人解散等の認可を受け、2014年4月に公立大学法人長岡造形大学が誕生する予定で順調に準備が進んでいます。

事務局でも申請に向けて、担当職員が新しい大学としての組織や規定などの作成を進めており、これらの作業もいよいよ最終段階にきています。

### 2 あらためて、なぜ公立大学法人化が必要なのですか？

現在は少子化による大学進学者の減少、景気の低迷による教育費の負担感の増大により、地方の私立大学にとっては大変厳しい運営環境になっています。

このような状況の中で、NIDは抜本的な大学改革に取り組むことが急務であり、大学改革を加速させる有効な手段として「公立大学法人制度」を活用し、経営の安定化を図り、将来にわたって時代と地域社会の要請に応えていくことが必要であると考えています。



高橋 猛夫  
長岡造形大学 事務局長  
2005年から現職

### 3 NIDが公立大学になった場合、 大きく変わることは何ですか？

公立大学法人化した場合、授業料は他の公立大学と同様の水準となるため、学生と保護者の授業料に対する負担が軽減されます。

これに公立大学としての知名度と信頼性の向上も加え、今以上に志ある優秀な学生が集まるはずで、また、「社会人基礎力」「構想力」「造形力」の3つの能力修得に向けたカリキュラムの大幅な改変と、専任教員の増員を図ることにより相乗効果的に教育・研究の質の向上が加速されます。もちろん長岡市との連携強化により、さらなる地域貢献力の増強も期待できると思っています。

### 4 最後に公立大学として、 これからの目標を教えてください。

地元の役に立たない大学は世界でも役に立てるはずがありません。地域を大切にし、世界でも存在感のある大学を目指します。



## 公立大学法人化 Q&A

#### Q 公立大学になった場合、取得できる資格は変わりますか？

A 2014年4月から公立大学となる場合でも、資格については現在と変わらずに取得できる予定です。  
主な資格としては、全学科で学芸員を、美術・工芸学科では中学校、高等学校の美術教員免許を取得することができます。また、建築・環境デザイン学科では、全ての学生が一級、二級建築士の受験資格を取得することが可能なカリキュラムとなっています。  
※それぞれ資格取得には所定の科目を履修する必要があります。

#### Q 現在高校2年生ですが、2015年4月入学者の入学試験はどうなりますか？

A 2015年4月入学者向けの入学試験については、現在内容を検討しているところです。公立大学となった場合は、入学試験についても現在の私立大学の入学試験とは大きく変わるようになると思います。詳細が決まり次第、順次ホームページなどでお知らせします。